

令和7年度「健やかな体」育成プログラム

学校番号：23006

学校名：札苗小学校

| 令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 結果 | | 分析 |
|---------------------------|--|---|
| 体力・運動能力 <男子> | <p>現5年 50m走は全国平均を上回っていますが、特に、20mシャトルランとソフトボール投げは、全国平均より下回っています。持久力や投力に課題があるかもしれません。</p> <p>現6年 50m走と立ち幅とびは、全国平均を上回っています。瞬発力は比較的高いと言えるかもしれません。握力、上体起こし、長座体前屈は、全国平均より低いです。筋力や柔軟性に課題があるかもしれません。</p> | <p>傾向としては、持久力や俊敏力にやや課題が残りますが、様々な種類の運動や遊びを通して、走る・跳ぶ・投げる・バランスを取るなどの多様な動きを習得し、体育の授業と日常生活の遊び両面から運動能力の向上を促します。</p> <p>また、休み時間の遊びでは、特定の遊びに偏ることなく、幅広い遊びを経験できる機会を提供します。そして、子どもたちが遊びを通して自然に体を動かし、様々な動きを習得できるような環境づくりを心がけます。遊び、体育の授業の中では、難しい動きばかりではなく、誰もが達成感を味わえるような簡単な遊びや運動も取り入れ、意欲を高め、体力向上に努めたいと思います。</p> |
| 体力・運動能力 <女子> | <p>現5年 20m シャトルラン、立ち幅とび、反復横とびは、全国平均より下回っています。他の部分でもやや下回っています。</p> <p>現6年 立ち幅とびはほぼ全国平均並みですが、20mシャトルランとソフトボール投げは、全国平均から下回っています。持久力や投力に課題があるかもしれません。</p> | |
| 運動・スポーツへの意識、運動習慣 | <p>「運動やスポーツをすることが好き」男子 96.6%、女子 81.8%</p> <p>「体育の授業は楽しい」男子 100% 女子 84.8%</p> <p>「友達と助け合ったり教え合ったりしてできる分かることがある」男子 89.2% 女子 81.9%</p> | |

| 三つの取組 | ①体育・保健体育等の授業の充実 | ②授業以外で子どもの運動機会を創出する取組 | ③子どもが自らの健康づくりを図る取組の充実 |
|-------|-----------------|-----------------------|-----------------------|
|-------|-----------------|-----------------------|-----------------------|

| | | | |
|---------------|--|--|--|
| 具体的な取組 | <p>○コロちゃんウィーク（マット週間）の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全校でマット運動に取り組む時期をそろえ、体育館にマットを常設し、休み時間も練習することができるようにする。 <p>○ピョンちゃんウィーク（跳び箱週間）の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全校で跳び箱運動に取り組む時期をそろえ、体育館に跳び箱を常設し、休み時間も練習することができるようにする。 <p>○全校でスポーツテストを実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4～6年生は全種目、1～3年生は取り組みやすい種目を設定し、全校児童が実施し、自分の体力の成長を振り返ったり目標を立てたりしている。 <p>○ICTの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題探究的な学習に生かし学習の充実を図る。 | <p>○なわチャレ（なわとびマイベストチャレンジ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中休みに短なわの技に挑戦し、学年に応じた目標の回数をクリアする。全校で取り組む。 <p>○長チャレ（長なわチャレンジ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冬期間など、運動不足になりがちな時期に広い部屋を活用し、長なわやダブルダッチに挑戦する。 <p>○放課後遊び（4～6年生の活動）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月火木曜日の放課後15～20分程度体育館で約束に基づき、自由にやりたい運動に親しむ。 <p>○ドッジボールコートの常設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グラウンドには、ドッジボールコートを複数面常設し、自由に使って遊ぶことができる。 <p>○道具の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使いやすく柔らかいボールを全学級に配付。 | <p>○栄養教諭の専門性を生かした食に関する指導の充実。</p> <p>○養護教諭の専門性を生かした性に関する指導の充実。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学年で時期をみて実施。 ・ゲストティーチャーによる授業 など。 <p>○生活アンケート、保健、学活、道徳などの時間を活用し、自らの生活を振り返る場の設定。</p> <p>上記のような取組を通して、子ども一人ひとりが健康づくりの意識と実践力を高めていく。</p> |
|---------------|--|--|--|

| | | |
|---------------------|--|--|
| 家庭・地域との連携・協働 | <ul style="list-style-type: none"> ○保健体育の評価規準に基づく学習状況評価結果の活用 ○学校独自の児童アンケートや保護者アンケート等の活用 ○地域の方の着衣泳および水難事故防止の学習 | <ul style="list-style-type: none"> ○全国体力・運動能力、運動習慣等調査などの活用 ○地域のスポーツ少年団・クラブとの連携による運動会見の機会作り |
|---------------------|--|--|